

議決権行使書でいただいたご意見と、それに対する専門部としての見解です。

・小原先生、石代先生、野元伸先生

人件費等の減額できるところを精査して、40,000 円でできないか。

収支比較では「旅費」、「印刷費製本」、「消耗品」、「借損料」の差額が大きい。

→高体連の役員の旅費は専門部で負担し経費削減している。

選抜予算を計上する時点では、各種補助金など収入で確定しない部分がある（予算提出は当該年度の8月）ので、収入の見込める範囲で予算立てをする。審判員を技量、地区などを勘案して全国から選出しているが、直前の決定となるので、支出見込みが立たない。

借損料については、近年、減免の基準が厳しくなり減免にならない例もある。また、冷暖房にかかる費用も大きい。

地元の旅費については、地元ごとに様々な事情があるので一律に旅費削減をお願いすることは難しい。

・石代先生

日本協会（高校生が最大の登録数）からの補助金増額を実現してほしい。

→日本協会への補助金増額の申し入れを継続して行っていきたい。

・大坪先生

2 種目以上出場する場合は減額する措置を考えていただけたらと思う。

→2 種目以上は減額する、ということになると、出場校が確定するまで予算が確定せず、開催地にとっては予算が確定しない中で準備は困難である。

今後とも出場校に負担がかからないような方策を模索していきたい。